



熊本地震地盤災害調査報告会

熊本地震から一年 一 地盤災害からの復旧とこれから一

日時：平成 29 年 4 月 22 日(土) 13:00-17:00
場所：熊本大学工学部百周年記念館

(収容人数 250 名・駐車場はございません。公共の交通機関でご来場ください。)

参加費：無料 ※事前の参加申込みが必要です(下記報告会 Web よりお申込みください)

G-CPD プログラム対象:4.0 ポイント
報告書販売予定:¥3,000 円(税込)



報告会 Web ページ

<https://goo.gl/5nv83n>

【報告会プログラム】

12:30 受付開始

13:00-13:20 開会 司会: 椋木俊文(熊本大学:調査団幹事長)

主催者挨拶: 村上 章((公社)地盤工学会 会長)

開会挨拶: 宇佐川 毅(予定)(熊本大学 工学部長)

13:20-14:45 第一部 調査団報告

- | | |
|-------------------|------------------|
| *調査団の活動報告 | 北園芳人(熊本大学:調査団団長) |
| *斜面災害からの復旧とこれから | 笠間清伸(九州大学:調査団主査) |
| *インフラ被害からの復旧とこれから | 末次大輔(佐賀大学:調査団主査) |
| *宅地被害からの復旧とこれから | 村上 哲(福岡大学:調査団主査) |
| *災害廃棄物の処理と課題 | 藤川拓朗(福岡大学:調査団主査) |
| *質疑応答 | |

— 休憩 —

15:00-16:50 第二部 パネルディスカッション「宅地地盤災害リスクを低減するために」

コーディネーター: 安福規之(九州大学・調査団副団長)、村上哲(福岡大学・調査団主査)

パネリスト: 鈴木徹氏(都市局都市安全課都市防災対策企画室長)

友清 衣利子氏(熊本大学工学部建築学科准教授)

田尻雅則氏(地盤品質判定士)、北園芳人(調査団団長)

情報提供者: 原井正氏(熊本県土木部建築住宅局)

キーセンテンス: 宅地地盤被災状況、宅地耐震推進事業、復旧のための自治体の取り組み、宅地地盤災害リスクの評価、宅地と建物、学会としての取り組みなど

16:50-17:00 閉会

閉会挨拶 大谷 順((公社)地盤工学会 副会長)

(※講演者および題目は変更の可能性があります)

主催:(公社)地盤工学会

共催: 熊本大学工学部, (一財)熊本工学会

後援:(公社)土木学会西部支部, (一社)日本建築学会九州支部, (一社)日本応用地質学会九州支部,
(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部, 国土交通省九州地方整備局, 熊本県, 熊本市 (予定含む)

■問合せ先 公益社団法人 地盤工学会九州支部 〒810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル 2 階
TEL: 092(717)6033 FAX: 092(717)6034 E-mail: jgsk_jimu@able.ocn.ne.jp

熊本地震 地盤災害 調査報告会

熊本地震から一年
地盤災害からの
復旧とこれから

平成29年4月22日（土）13:00-17:00

熊本大学工学部百周年記念館

参加費：無料（報告会ホームページ(<https://goo.gl/5nv83n>)からの事前申込みが必要です）

第1部 調査団報告

熊本地震地盤災害調査団による、斜面災害・インフラ被害・宅地被害からの復旧とこれから、災害廃棄物の処理と課題についての調査報告

第2部 パネルディスカッション

宅地地盤災害リスクを低減するために

宅地災害からの復旧、災害に強いまちづくり、産官学民が今後取り組むべき課題、その解決への道。4名のパネリストによる講演と全体討論

主催：公益社団法人 地盤工学会

詳細は、報告会ホームページ(<https://goo.gl/5nv83n>)をご参照ください。
本調査団の調査報告書(3,000円、税込(予定))を作成、販売いたします。
本報告会にてご購入可能です。

【問合せ先】(公社)地盤工学会九州支部
E-mail: jgsk_jimu@able.ocn.ne.jp, TEL: 092(717)6033

